

なすからすやま 社協だより

6月
No.152



環境に優しいせっけん夢クリーン



暑くても、寒くても、がんばって作ってます。

就労支援事業所あすなろでは、何か地域の役に立てる仕事はないかと、平成5年からリサイクルせっけん作りを行っている。利用者は、油の回収や濾過機での油こし、せっけん製造、袋詰め、納品等、意欲的に作業に取り組んでいる。さらに納品時の地域の方との触れ合いが、作業意欲につながっている。

せっけんは、中学校給食センターや老人・児童福祉施設等から回収した廃食用油で作られ、排水後も微生物により分解され、環境に優しいものとなっている。毎年、成分分析検査を受け、JIS品質規格をクリアしている。頑固な油・泥汚れがよく落ちると少しずつリピーターも増えてきており、皆さんもぜひお試しください。

せっけんづくりの プロをめざして！



粉せっけん袋詰め作業



固形せっけんのカット作業



せっけん製造作業

多くの方のご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

☎ 82-3141
那須烏山市中央2-17-13

● 問い合わせ・あすなろ
※郵送もしています。

● 販売協力店(敬称略)
芳賀中学校・たんぼぼ保育園・さつき幼稚園・平石環境システム(株)・真岡消費者友の会・クローバースターキハウス・相澤クリーニング・宮食

● 大口購入者(敬称略)
かつぎ時計店・クローバースターキハウス・山あげ会館・龍門ふるさと民芸館・高瀬直売所・ナスカラ市場・保健福祉センター・市社会福祉協議会本所・烏山支所・パン工房風・とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)等



固形・粉 (300g・1kg・2kg)

「見守り」情報交換会

自治会・民生委員児童委員、市、社協の連携強化

3月29日、小地域見守り活動情報交換会が市保健福祉センターで開催され、自治会役員・民生委員児童委員・実践者・市・本会職員など関係者約60人が参加した。

当日は、実践活動の事例として、南自治会「気がつき隊」と、日野町自治会「見守り活動」・「日野町縁（えにし）の会」、大金台自治会「見守り隊」が紹介された。

その後、質疑と10のグループに分かれての意見交換を行い、地域での見守りや助け合いの在り方などについて理解を深めた。



お互いの活動や課題など情報を交換

南自治会気がつき隊長の堀江進一さんは「対象世帯へのアンケートも実施した。高齢化等により既に孤立化は進ん

でいる。孤立を防ぎ、安心して住むことができる地域づくりに向けては、ご近所住民同士で顔と顔が見える関係をつ

くっていきけるかがキーポイント。地域と専門職の連携強化が不可欠」と提案した。

日野町自治会長・日野町縁の会代表の黒須正一さんは「地域住民のまとまりをつくるのが一番の目的。自治会でも防災や見守りの情報交換を定期的に開催している。縁の会はまだ発足したばかりだが、今後自治会や民生委員とも連携して助け合いや環境維持活動等を実践し、住民同士の縁をつないでいきたい」と話した。

大金台自治会長の小沼清利さんは「大金台は主に途中から移住した住民で構成された地域。まずは地域実態を知ることが先決とし班長会議で検討を重ね、戸別実態調査や別マップを作成した。班長等役員・民生委員・いきいきクラブ・ふれあいの里が参加する見守り情報交換会議も定期開催し、福祉課題の把握と解決に向けた取組みを進めていく」と話した。

情報交換では、自治会班等日頃からの近所づきあいでも無理なく、声かけやできることをすることが良い。判断の基準や個人情報情報の徹底など取り

決めている。顔を見てつきあう機会が減り、若い世代への引継ぎや今後の地域活動が懸念される。生活困窮等複雑な課題も増えている。助けてというのは抵抗があるため、民生委員と自治会が連携してフォローすることが必要。継続的に活動できる体制が必要。自治会での取組みとすれば活動経費を確保しやすい。まずは続けていくことが大切。活動を通してみんな分かち合うことで自分事になっていく。社協や市と一緒に活動する。など活発に課題や提案などの意見が出された。

社協では、今後も地域住民が主体となって、孤立を防ぎ、安心して住むことができる地域づくりを目指し、自治会・民生委員児童委員・市・関係機関等と連携して課題解決に向けた支援活動を充実させていく。

カナリア会 日帰りバス旅行

5月8日、カナリア会では日帰りバス旅行を開催し、会員16人が足利フラワーパークや安藤勇寿「少年の日」美術館の見学を行った。



安藤勇寿さんと記念撮影

同会は、烏山地区の1人暮らし高齢者同士で定期的に集い、出会いと交流を楽しむことを目的に実施している。会長の関根不二子さんは、「今回も楽しく交流できた。今後、1人暮らしの方々が外出したくなるような楽しい企画を考えていきたいです」との意見があった。

カナリア会の活動は次のとおり。

- ・日時 毎月第2火曜日
- ・時間 11時30分ごろ
- ・場所 市内各所
- ・会費 その都度実費

カナリア会に興味がある方、参加してみたいという方は、社会福祉協議会烏山支所までお問い合わせください。

登録ヘルパー募集中!!

問合せ ☎84-1294
(烏山支所・初音9-7)



常勤ヘルパー
金崎 千鶴

私たちと一緒に働いてみませんか。私たちは、毎日、各家庭を訪問し高齢者の方々の生活援助(そつじ、洗濯、調理、買物)や身体介護等をしていきます。人生経験豊富な方と接することができ、とても楽しい毎日です。



登録ヘルパー
鈴木 京子

ヘルパーの仕事は、利用者の方の身体介助や生活援助などです。人が好きで、ボランティア的なやさし

い気持ちがあればできる仕事です。

老々介護や一人暮らしの方が増加し、ヘルパーを必要とする人がたくさんいます。ヘルパーには定年もありません。健康であれば大丈夫。私たちと一緒に働いてみませんか。



登録ヘルパー
伊藤 まち子

ヘルパーのやりがいは何より、利用者の方から感謝されることです。食事のお世話、入浴介助、掃除などをする度に「ありがと」と言われて嬉しくなります。同時に、ご家族の方の介護負担を軽減する役割もあり、介護者の方からも、感謝されることもあります。

「こんな自分でも世の中の役に立っている。人の助けになっている」と考ええると、幸せな気持ちになります。

福祉共育サポーター 交流会



3月26日、福祉共育(教育)を推進していくため、福祉共育サポーターの交流会を開催し、11名が参加した。

現在、福祉共育サポーターは、学校で障がいや車いす等、子ども達の支え合いを重視した福祉の学習に協力している。

今回は、これからの地域共生社会で、どのような福祉の学習が必要なのかを知るため、大田原市社会福祉協議会の志賀はな絵氏を講師に、大田原市で行われている小学生と地域の住民が協力した福祉学習の事例を聴き、子ども達に福祉学習を通し、学んで欲しいことを話しあった。参加者からは、「福祉学習は福祉

だけでなく、地域の成り立ちを知ることもできる。日常的な学習ができるよう地域の方と協力していきたい」との感想もあり、今後、多くの方が気軽に福祉について学び、考える機会の提供できるよう努めていく。

すずらん作業所 日帰り研修

5月11日、すずらん作業所では、ひたち海浜公園へ日帰り研修が行われた。

当日は、天候にも恵まれ、園内を散策するにはとても過ごしやすい日だった。各エリアで、さまざまな花が咲いて



いるのを見られ自然に触れた一日となった。

利用者からは「ネモヒラの花が終っていると思ったがまだ咲いていたのでラッキーだった」「広い園内を歩いたので、万歩計を見たら、五千歩でも満足です」などと話していた

健康福祉まつり参加団体の募集

毎年11月の第1日曜日に市保健福祉センターで、健康福祉まつりを開催しています。市内で活躍する福祉団体やボランティアグループなどが、模擬店や活動紹介、作品展示などを実施します。

今年も実行委員会を設置し、開催のための準備を進めています。参加のご希望がありましたら本会までご連絡ください。☆市内で福祉・ボランティア活動をしていて、実行委員会にも必ず参加できる団体に限ります。

開催日 11月4日(日)
場 所 保健福祉センター
締め切り 7月2日(月)
問合せ 社会福祉協議会 ☎88-78801

ボランティアセンターだより

シリーズ ボランティアの達人「ほうちょう会ボランティア部会」

5月18日、ボランティアグループ「ほうちょう会ボランティア部会」がJAひまわりでボランティア活動を行った。高齢者に人気のある「ああ上野駅」「だんな様」「麦畑」など7曲を披露した。また、利用者にも3曲歌ってもらい、デイルームは大きな拍手に包まれていた。

カラオケの合間にはメンバーの石川義郎さんが得意の小品を披露し、利用者たちからは驚嘆の声があがっていた。

同会は、市議会を傍聴する「ほうちょう会」会員から、何か市のために役に立ちたいと有志6名が集まり結成され、カラオケ、手品、観光ボランティアなどを行っている。

カラオケに使用する機材は全てメンバーが持ち込み、施設で用意するものはイスとテーブルのみ。ふれあいの里やいきいきサロンにも対応できる。

「声を出すことは健康のためにもよく、利用者にも歌ってもらおう参加型の活動を心がけている。ボランティア活動は、行う側にも笑顔をもらえたり、感謝されたり得るものが多い。これからもレパトリーを増やして活動の幅を広げたい」と会長の一ノ渡克彦さんは話していた。



今のごちそう さまでした!



南那須地区

メニュー(5月9日)

配食数33食

- ・ご飯・鯖の味噌煮・野菜炒め
- ・胡瓜とワカメの酢の物
- ・ミニトマト・昆布の佃煮

ここでは、毎月配食サービスボランティアの皆様が作っているお弁当を紹介します。

ボランティア関係の情報がありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております!!

問合せ先 社会福祉協議会(ボランティア担当:石井・大森・笠井) ☎ 88-7881

生活上の心配ごと相談 (時間9:00~12:00)

場 所	期 日
本 所(田野倉) 保健福祉センター☎88-7881	6月27日(水)(行政相談併催)
	7月11日(水)(人権相談併催)
社協烏山支所(初音) ☎84-1294	6月20日(水)(行政・人権相談併催)
	7月4日(水)(行政相談併催)

協力事業所と受注作業 (4月分)

すずらん ☎ 88-0840		あすなる ☎ 82-3141	
丸星食品(株)	切干大根袋詰め	(有)大森紙器	箱折り
(株)シオダ	ピン取り出し ・袋詰め他	エム・シー・アイ(株)	自動車部品選別等
(有)菊地製作所	スベア組み他	(有)坂本製作所	自動車部品選別等
		(株)那須ニコソ	カップ切り
		(有)菊地製作所	ゴージャスケース等

寄 付 (敬称略)

4月15日~5月14日

社会福祉振興基金

高野陽子	50,000円
烏山FC	710円
那須烏山市歌謡協会	30,000円
チャリティ桜まつり益金	
塩野目ブロック婦共生会	6,000円
ゴルフ大会寄付金	

社会福祉振興基金

高野陽子	50,000円
くれよんクラブ	
くれよんスクール	
へ払い出し	

福祉サービス利用状況

(4月末現在)

介護保険サービス

ホームヘルプサービス	116件
ケアプラン作成	220件
介護予防ケアプラン作成	43件

介護保険以外のサービス

有償ホームヘルプ	16件
日常生活用具貸与	21件
障害者ホームヘルプ	7件
児童発達支援事業契約数	36件
放課後等デイサービス契約数	45件
障害児相談支援契約	99件
あすてらすサービス契約数	37件

アルミ缶 (単位:個) (敬称略) (4月15日~5月14日)

すずらん ☎ 88-0840		あすなる ☎ 82-3141	
横山 泰平	400	池澤 顕一	60
仲山 正夫	142	伊藤 秀樹	1,050
中山 寛行	250	海野自動車部品	150
野口 節	450	漆原 義孝	160
岩間 泉	262	大島 靖久	150
平山 新一	500	大谷 幸子	150
森嶋 正	250	大谷 修一	150
横山 寛美	300	大貫 保	60
佐藤 隆	300	小野 幸夫	80
露久保 章	600	小川床屋	150
少林寺拳法宇都宮東道院	220	上境上平協力者	150
エンナオート	1,200	上境中組協力者	4,350
JA女性会三箇支部	500	金銀	750
下川井協力隊	1,780	鳥山保育園	160
那須烏山市そば組合	1,500	川上 幸子	150
山中釣り堀	90	黒須 正夫	600
愛和苑	300	小林建設(株)	600
(株)東北化工	850	小林 キヨ	600
(株)アヤラ産業	300	小原沢自治会協力者	80
(株)丸星食品	100	坂田屋商店	300
(株)矢崎部品	864	澤村 実	230
(株)日本技研	60	JAなす南	80
中山地区有志	1,200	塩野目商店	150
ペット豊園那須烏山	108	下境上自治会協力者	1,050
匿名	300	(株)丸星食品	360
		(株)下境西組協力者	300
		(株)小規模多機能ホームなごみ	300
		(株)鈴木建設(株)	150
		高野 源市	260
		高橋 富次	300
		高橋 任	530
		玉ちゃん餃子	450
		中央協力者	300
		束原 正記	150
		栃木県庁南那須庁舎	300
		中村商店	150
		那須烏山商工会	310
		生魚商店	300
		成瀬 一郎	450
		根本 章	300
		野上 明光	150
		ハケ平自治会協力者	1,660
		パチンコZAPP	840
		ファミリーレストラン笠井	60
		益子 豊	220
		山あげそば店	150
		矢口文子	150
		(有)大森紙器	300
		横枕ソフトボール愛好会	1,500
		横山農機(有)	150
		和智 祐一	380
(合計 12,826個)		(合計 21,580個)	



社会福祉協議会は、皆さんの「心」に支えられて活動しています。ご理解とご協力をお願いします。